

3年次で中国からの高校生と国際交流をしました。

◆今号の記事は、国際教育主担当の寺田先生（英語科）が書いてくれました。

7月9日(火)の午後、JST（独立行政法人科学技術振興機構）主催の「**さくらサイエンスハイスクールプログラム**」により、中国国内の科学分野のコンテストで優秀な成績をおさめた中高生50名が本校を国際交流で訪問しました。ちなみに**50名の受け入れ**は、並木中等教育学校開校以来、外国からの交流受け入れ人数で**最高記録です！**

優秀な中国の生徒たちは、一昨日来日し、ノーベル賞受賞者を含む日本の識者の方々の講演や、(独法)海洋機構・JAXA・日本未来館・ソニーEサイエンス・東京理科大学・横浜市立大学・中国大使館訪問に鎌倉散策という充実したプログラムの一環で、「**同世代の日本人と交流したい**」というたっの要望で本校に来てくれました。

5限に開催された**レセプション**では、まず双方の代表者挨拶（もちろん本校代表は中島博司学校長です！）にはじまり、3年次生徒による中国語での歓迎スピーチは拍手喝采。生徒主体の笑いあり拍手ありの両国代表生徒によるプレゼンテーションは充実そのもの。その後、並木3年次全員で「**Gift**」を**合唱**したところ、中国では合唱の文化がないとのことで感動してもらえたようです。また、5年次から特別に来てくれた生徒による**空手の演武**は息をのむ緊張感が伝わり、**剣道部**3年次生の模範試合は迫力満点。中国側からの美しい民族衣装での舞踊や歌のパフォーマンスに並木生もうっとり。有意義な時間となりました。

6限は各クラスで12名から13名の中国人を受け入れ、班別で**折り紙**をした後、事前に並木生が選んだ**5つのテーマで英語のインタラクション**。引率のJSTの方々からは、「いろいろな中学校、高校を訪問しますが、**こんなに英語を楽しそうに使える生徒さんたちに会ったのは初めてです。**」とお褒めのお言葉をいただきました。

この交流を機に、**両国の若い世代による友好関係**がさらに密になると良いですね。

